

2021年6月吉日

関係者の皆様

日本国民及び日本を愛する皆様へご寄付のお願い趣旨

日本は敗戦後の処理で北方領土問題を残しておりますが、最大問題の一つであった沖縄本土復帰を果たしております。その一方で我が国の領土の一部である尖閣諸島を現在中国は自国の領土と繰り返し主張しておりますが、その状況の中で、我が国の外務大臣・茂木氏はわが国に領土問題は存在しないと国会で答弁を繰り返しております。

そして、現場の実態を見る限り、わが国の固有の領土である尖閣諸島に中国政府は主張だけに留まらず、我が国の海域への不正侵犯を繰り返しております。

中国のこのような行動の背景にあるのは偉大な中国の復興を目指す世界戦略であり、その一環として既に起きている香港問題、ウイグル人権問題、南沙諸島問題を始め台湾問題等を中国国内問題と主張する事で諸外国の干渉を全てかわしながら自国本位の姿勢で徹頭徹尾に進めているのが実情であります。

このような中国の行動が我が国にも及んでいる状況を、国民の皆様や世界に情報発信して行く事で、あるがままの現状を客観的に理解してもらう為に、別紙の添付企画を思案いたしました。そして、自衛隊、海上保安庁だけでなく、政府全体、そして国民として何ができるのかを考えることが出来ればと願っている次第です。

本企画は平和ボケ日本に甘んじるのではなく、より身近で切迫した問題である事を日本国民の皆様にも周知する切掛けを作ることを目指しております。

今までは日米安保条約の下で守られているとの事で済ませてきていた事が新しい危機として、国民の皆様方と全体で乗り越えるための知恵を出し合うことが最終目標であります。

本当の意味での危機意識を持ち続けながら、万が一有事が起きれば、それに対抗できる心構えを日本国民の皆さまが持つことで、誰もが経験したことが無い、新型コロナウイルス問題以上の非常事態が起きたとしても、政府と国民が一体となって対応できることこそが真の安全保障とではと考えます。

本企画は尖閣諸島問題に焦点を当てておりますが、今後予想される線引きが曖昧な安全保障に関わる他の領土問題や国内の緊急災害にも貢献でき得る仕組みに発展させていく事も段階的に考えていく予定です。

国民の皆様のご幸せと発展が国家を支える原動力なのです。国家が発展するために国民の皆様方の幸せと平和の安定をお届けすることが政治家の使命であります。その意味から提案を申し上げるものでございます。多くの皆様方のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、元石原都知事が在任中に尖閣諸島を都有地にと言う事で基金を募り応募して頂いた浄財が東京都に 14 億円あるはずです。このお金は尖閣諸島買収のための資金として東京都に集められた浄財なので東京都としては勝手に使えない性格なもので御座います。

この時、世情では中国が尖閣を買いに来ている等の話が報道され、その危機感が当時の都知事であった石原慎太郎氏を動かし、多くの国民の皆様の心を動かしわが国の領土を守る為に集まった尖閣諸島購入資金でした。

結果として国が買い取ったのです。

この大事な浄財を今般の企画である、尖閣諸島及び周辺海域一望プロジェクトにご寄付願えるように都へ寄付された方々にお問い合わせ申し上げます。

寄付された方のご趣旨に合う最もよい企画と自負しております。

初代防衛大臣 久間章生